

胃液検査ニヨレバ總酸度ハ一〇遊離鹽酸ハ陰性、乳酸反應ハ陽性ナリ。

糞便検査上潜在性出血反應ハ強陽性ナリ。

血液像ニハ變化ナク、ワッセルマン氏反應陰性、及ビボテロー氏癌反應陽性ナリ。

レントゲン線徹照上ニ胃ノ小彎ニ一箇ノ陰影缺損ヲ證明セリ。

組織學的ニハ角質層ノ著明ノ肥厚増殖アリ有棘細胞層ハ肥厚シ上皮索及乳頭ハ延長肥大分歧シ乳頭部及乳頭下部ニ細胞浸潤アリ、多量ノ色素顆粒ハ主トシテ基礎細胞内ヲ充シ尙ホ下層有棘細胞内ニ及ブアリ。淋巴腺ニ於テ「メラニン色素顆粒」ヲ證明ス。胃癌ハ膠樣癌ナリ。

余ハ本患者ノ血糖量及植物神經ノ藥物學的検査ヲ行ヒリ、血糖量ハ〇・〇八〇%ニシテ生理的範圍ニアリ、「アドレナリン」過血糖及糖尿ハ來ラズ、「アトロピン」及ビ「ピロカルピン」反應ハ陽性ナリ。

本患者ハ本院第二外科ニ於テ泉博士ニヨリテ胃癌切除術ヲ行ハレ、術後四週間ニシテ欣然トシテ退院シ現今尙ホ職業ニ従事シツ、アリ。

## 胎兒及ビ初生兒ノ子宮ニ於ケル脂肪ノ検索

金澤醫科大學產婦人科

玉 川

和

余ハ胎生六ヶ月ヨリ生後五日ノ初生兒ニ至ル迄種々ノ期間ノ子宮ニ就テ脂肪ノ検索ヲ行ヒタリ。其ノ結果ニヨレバ。胎生六ヶ月ヨリ胎生九ヶ月ニ至ル各期間ノ胎兒子宮ニハ一般ニ脂肪ヲ證明セザレドモ只其中ノ「ヒスチオチーテン」ニハ脂肪ヲ證明スルモノナリ。且其ノ脂肪ハ中性脂肪ニシテ稀レニ「コレステリンエステル」ナルコトアリ。

六ヶ月胎兒子宮ノ「ヒスチオチーテン」ニハ只「ズダン」IIIニヨリテノミ弱黃色ニ染色セラレ他ノ脂肪染色法ニハ全然

陰性ニテ其脂肪モ微量ナリ。

胎生十ヶ月即チ成熟胎兒以後ノ子宮ニ在リテハ、粘膜及ビ「ヒスチオチーテン」ニ脂肪ヲ證明スルモノニシテ、粘膜ニアリテハ上皮細胞、腺細胞ノ基底部ニ細小ノ顆粒狀トナリテ證明シ固有膜ニハ證明セズ。多クハ單屈折性ニテ「ズダン」、テルブラウスルファート「染色ニ陽性ニシ他ノ染色法ニハ陰性ナル脂肪ニシテ中性脂肪ナリ。

初生兒子宮ニ於テハ粘膜、「ヒスチオチーテン」ニ脂肪ヲ沈着セシメ、粘膜ニハ腺細胞、上皮細胞、固有膜共ニ原形質内ニテ核ノ周圍ニ證明シ、何レモ多クハ單屈折性ノ「リポイド」ナリ。而シテ其ノ脂肪沈着ハ胎生期ヨリモ多シ。

コレヲ要スルニ、一般ニ胎生期ニハ「ヒスチオチーテン」以外ニハ脂肪ヲ證明セザルモ成熟胎兒及ビ初生兒ニ至レバ粘膜、「ヒスチオチーテン」ニ脂肪ヲ證明シ、初生兒ニ至レバ其ノ脂肪出現ノ量モ増加シ、「リポイド」ヲ混ズルニ至ル。即チ妊娠月數ノ増加シ、子宮外生活ヲ營ミ得ルニ從テ増加ノ傾向ヲ有ス。

「ヒスチオチーテン」中ノ脂肪ノ意義ニ關シテハ、余ハコノ物質ガ細胞増殖ヲ促進シ、「エムブリオ」性細胞ヲシテ急速ニ發育セシムル要素タルガタメニシテ、コトニ一朝體外生活ヲ開始スルヤ茲ニ益々急速ナル發育ヲ要スベキヲ以テ、從テ脂肪物質代謝ヲナスベキ「ヒスチオチーテン」中ニモ多量ノ「リポイド」ヲ保有シ組織ノ發育ヲ促スモノト推斷セントス。

即チ「ヒスチオチーテン」中ノ脂肪ハ組織球其ノモノ、特種ノ機能的現象ノ結果ニシテ、コハ「エンブリオ」組織ノ發育ニ向ツテ重大ナル意義ヲ有スルモノナリ。

胎兒及初生兒子宮粘膜ニ出現スル脂肪ノ意義ニ關シテハ、シユレーデル、ホイテル氏ノ成熟子宮粘膜ニ於ケルガ如ク變性的現象乃至局所ノ營養障礙ニ基キテ成生セルモノトナスヲ得ズ、又クンドラート、エンゲルマン、ウイリアムノ云フ如ク月經ト關係アルモノトモ思憶スルヲ得ズ、又アシュハイム及ビ其ノ一派ノ云フ如ク「グリコーゲン」ノ如ク卵ノ營養ニ資スルモノトモ考ヘルヲ得ズ。或ハ又子宮粘膜官能ノ機能亢進ノ結果トモ考フルヲ得ズ。

故ニ余ハコノ脂肪出現ノ意義ニ關シテハ、胎兒、初生兒、子宮粘膜ニ加ハル種々ナル有害物ヲ防禦シ且ツ有毒物ニ對シテ一種ノ解毒作用ヲ有シ以テ粘膜ヲ保護シ將來婦人ノ天職タル受胎、分娩ヲ全フサスガタメノ準備トナルモノニシテ一種ノ解毒防禦作用ニ役立ツモノナリト説明セントス。

### 最近ニ於ケ新鮮ナル喇叭管破裂五例ニ就テノ臨床的並ニ手術的觀察

小 野 恒 雄  
滿 谷 珠 一

演者ガ最近一ケ年間ニ遭遇シタル喇叭管破裂ニ就テ其主ナル事項ヲ表記シ治療ニ就テハ速カニ手術スルノ利ヲ說キ可及的早期ニ手術的治療ヲ加フベキヲ力說ス。

### 妊娠分娩及產褥ニ於ケル腎臟障礙ニ就テ

中 井 哲 太 郎

當大學附屬醫院ニ入院セシ患者十四名ニ就キ臨床上ノ經過ヲ詳シク觀察シ、尿ニ就テハ蛋白、食鹽、窒素等ノ定量ヲ行ヒ殊ニ分娩前後ノモノニ於テハ一回ヅ、「カテーテル」ニテ導尿セシモノニ就キ檢査定量シ尙食餌ニ就テモ此等ノ定量ヲ行ヒテ得タル結果ヲ簡單ニ綜合スレバ、

- (一)、所謂妊娠腎ナリト思考セラル、モノニ於テハ著シキ腎臟ノ水分排泄機能ノ障礙アリト思ハレシモノナシ。
- 而シテ浮腫ノ原因ニ就テモ其ノ腎臟性ニヨルヨリモ寧ロ腎臟性以外ニヨル所多キヲ思ハシメタリ。
- (二)、妊娠末期ニ於ケル輕度ノ蛋白尿ハ產褥早期ニ於テ全々消失シ臨床上何等ノ障礙ヲ殘サバルモノナルガ故ニ臨床上此ヲ病的ト看做ス要ナキガ如シ。